

南部小だより

令和6年10月24日発行

変わってほしくないこと

校長 鏡味志寿夫

今年の夏は本当に長かったです。10月に入り、ようやく暑さも落ち着き、秋の気配を感じるようになってきました。暑さの影響でしょうか、彼岸花の咲く時期が例年よりもかなり遅くなってしまいました。他にも栗の実の育ちがおかしい等「いつもの9月」とは違う自然の姿のニュースをたくさん耳にしました。

ICT機器等、科学技術の進歩はすごいです。新しいものの開発が進み、どんどん便利な世の中になっています。その反面、すっかり姿を消していくものもあります。時代の流れとはいえ、一抹の寂しさも感じます。今年の暑い夏から感じたこととして、日本ならではの「四季」の姿が変化してきているのではということです。秋がなくなってしまうのではと心配になりました。やはり、春は春らしく、夏は夏らしく、秋は秋らしく、冬は冬らしくあってほしいものです。美しい自然の姿は、変わってほしくありません。

10月5日（土）には、PTA環境整備作業を実施しました。50名の保護者と子ども達、14名の教職員が参加をし、運動場周りの整備に取り組みました。約1時間の活動でしたが、運動場周りが見違えるようになりました。参加をしてくださった皆様、本当にありがとうございました。子ども達のためのこのような活動も今後も続いていってほしいと思いました。

後期児童会役員選挙

教頭 榊原 章仁

9月27日（金）の6時間目に後期児童会役員選挙の立ち会い演説会が行われました。選挙において選出されるのは、役員7名です。会長は、選出役員の中から、代表委員会において選挙を行い選出されます。今回の選挙では、6年生が6名、5年生が9名、4年生が2名の計17名が立候補者をしました。

選挙に向けて、当選したらこんなことをやりたいという思いを立候補届け出用紙にしっかりと書き、そこには、「あいさつができる明るい学校にしていきたい」「ペア活動を増やして、異学年との交流を深めたい」など、南部小学校をよりよくしたいという思いが込められていました。選挙運動期間でも、自分の名前を書いたタスキをかけて、名前を知ってもらえるよう呼びかけたり、町の選挙ポスター掲示板ながらのポスターを掲示したりと工夫した選挙運動が見られました。

立ち会い演説会の当日は、立候補者の顔がよく見えるような配慮から、選挙管理委員立ち合いの下、プレイルームで行ったものを各教室に配信しました。選挙管理委員長が、「この選挙では、友達や知っている人を選ぶのではなく、南部小学校のために全力を出してくれる人を選びましょう」とあいさつをしました。各立候補者のあいさつでは、自分が役員になってやりたいことやがんばりたいことを分かりやすく伝えていました。特に、「あいさつ運動」や「異学年交流」を充実させていきたいという思いが多く、自分の思いを堂々と伝える姿を頼もしく感じました。

児童会役員に当選した人たちが、これからどのような活動をしてくれるのかとても楽しみです。よろしくお願いします。



<選挙管理委員長のあいさつ>

<学校の様子>

【幼保小中高校一斉あいさつ運動】



10月7日～10月13日（学校での実施は11日まで）の地域でのあいさつ運動に協力いただきありがとうございました。学校に来てくださった民生・児童委員、阿久比中学校の生徒・先生方、どうもありがとうございました。

【芸術鑑賞会の様子】劇団歌舞人による「アラジンと魔法のランプ」



【PTA環境整備の様子】



【お知らせ】保護者の皆様、ご予約いただき、子ども達の様子をご覧ください。

11月1日（金）学校公開日（9:40～12:25） ※2時間目から4時間目が公開授業です。
（詳細の時間割は、後日COCOOで配信します。）